

質問

30代前半の女性です。髪の毛が薄くなって悩んでいます。髪は伸びていますが、全体に薄くなってきているので「ひまん性脱毛症」と思われます。発毛・育毛成分のミノキシジルを頭皮に塗って経過を見ていますが、効果はありません。このまま薄毛が進行していきたくありません。適切な治療法があれば教えてください。

薄毛の進行が不安

相談室

徳島県医師会

答え

30代前半の女性 ひまん性脱毛症についてお答えします。同年代の男女の円形脱毛症や同年代の男性の男性型脱毛症と違って、原因は多様です。可能性が高いものに休止期脱毛症があります。

頭髪は一本ごとに固有の毛周期をもち、毛が伸びる「成長期」(3~7年)、伸びが止まり毛包が短縮する「退行期」(2~3週)、毛髪新生への準備をする「休止期」(約3カ月)を経て、再び「成長期」に入ります。休止期脱毛症では、通常よ

ひまん性脱毛症



久保 宜明教授

徳島大学大学院
ヘルスバイオサイエンス
研究部皮膚科学分野
(徳島市蔵本町3)

りも多くの成長期毛が同時に、または徐々に休止期に入ります。その結果、通常よりも多く脱毛し、頭部全体にわたって毛髪の数が少なくななり、ひまん性脱毛の状態になります。

ります。

休止期脱毛症は大きく急性と慢性に分けられます。

急性休止期脱毛は、外傷、手術、高熱、精神的ストレスなど比較的強いストレスの2、3カ月後に生じます。妊娠中にホルモンの影響で増え

外用剤 効果は限定的

ていた成長期毛が産後に休止期に移行して脱毛する分娩後脱毛症もこれに入ります。避妊薬ピルの内服中止後にも同様のことが生じます。急性休止期脱毛は自然に回復します。

慢性休止期脱毛は、6カ月以上をかけて脱毛が進行します。さまざまな病気に伴ったことがあり、原因となる病気を治療することによって脱毛を治すことができます。それらの病気は甲状腺疾患(機能亢進症、機能低下症)、膠原病(全身性エリテマトーデス、皮膚筋炎など)、鉄欠乏性貧血、亜鉛欠乏などの低栄養、肝障害、腎障害、梅毒などが挙げられます。

また、さまざまな病気に対して内服している薬剤が原因で、慢性休止期脱毛が生じることもあります。

次に、30代前半の女性には比較的まれですが、男性型脱毛症の可能性もあります。女性の男性型脱毛症では、頭頂部の毛髪の軟毛化が特徴で、頭頂部から前頭部にかけての毛髪が細くなり、ひまん性脱毛の状態になります。女性の男性型脱毛症では、男性の男性型脱毛症よりも発症時期は遅くなり、通常は閉経期ごろから発症しますが、中には30歳

前後から発症する人もいます。男性に効果のある内服薬「フィナステリド」は女性に対しては効果がありません。現在、女性に有効と思われるのはミノキシジルの外用剤ですが、効果は限られているようです。まれですが、男性ホルモンが増加する病気を伴ったこともありますので、その場合は原因となる病気を治療することで脱毛症を治すことができます。

その他、円形脱毛症が頭部全体に緩やかにひまん性に生じる場合、無意識のうちに自ら頭髪を抜いてしまう抜毛癖、詳細に調べても原因不明のひまん性脱毛などもあります。

徳島大学病院では毎週月曜日午後2時から4時まで脱毛外来を行っています。脱毛外来での診察をご希望の場合、1回目は通常の午前の初診外来を受診いただき、2回目以降に脱毛外来での診察になります。

ひまん性脱毛の原因は多様ですが、きちんと原因の病気を治療すれば治る場合があります。お一人で悩んで市販の育毛剤を使用する前に、まず最寄りの皮膚科専門医にご相談ください。